

## 産業の競争力強化

### <課題の背景・めざすべき社会>

- 我が国の産業競争力の低下が指摘され、貿易収支が赤字に陥る中であって、本県は、モノづくり産業の世界的な拠点として、多額の貿易黒字を稼ぎ出し、日本経済を支えている。これは、自動車産業が紡織機から発展し、セラミックスが窯業から生まれたように、時代の変遷に応じて産業構造を変化させながら、企業の中核部門と創造性に富んだ生産現場が密接に結びつき、多様な素材・部品メーカーともすり合わせを行う中で、自動車産業など先端分野での競争力を高めてきたからに他ならない。

[貿易収支の推移]

単位：億円

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
県内	71,628	87,014	99,888	83,212	46,746	65,389	52,824	60,533
全国	87,072	79,019	107,955	20,633	26,712	66,347	▲25,647	▲69,411

出典：貿易統計（財務省） 県内は名古屋港、三河港、衣浦港、中部国際空港の計

- 今後、世界経済がフラット化していく中で、産業経済面では、以下のような変化が見込まれる。
- ・新興国が大幅に成長（インフラ投資、消費の活発化・・・）。
  - ・国内市場は人口減少に伴い縮小するとともに、より成熟化（個人の嗜好に応じた製品・サービスに対するニーズの多様化・・・）。
  - ・医療、介護、健康や環境・エネルギーといった世界的な課題を解決する産業が成長分野に。
  - ・モノづくりにおいては、デジタル化・モジュール化が進展。新興国は圧倒的なスケールメリットや技術力の向上で世界の工場に。そうした中で、最終組立メーカーの再編や淘汰も進行。一方、素材・部品などモジュール化の中で中核となる財やデジタル化を可能とする革新的な生産技術の開発能力を有するメーカー、企画・研究開発から販売・アフターサービスに至る業務工程のなかで付加価値を最大化するビジネスモデルを構築できるメーカーなどが力を増す。
  - ・サービス産業は、金融、ICT、物販などにおいてグローバル市場で活躍するプレイヤーが存在感を高める。あわせて、介護や教育をはじめ身近な分野でも社会の成熟化に応じて様々なニーズが生まれ、発展が続く。
  - ・企業や人材が、自らの進出場所や活動地域をグローバルな視点で選択する傾向が高まる中で、人口や産業の集積のほか、文化や歴史、芸術、観光など地域固有の魅力を有する「メガ・リージョン」と呼ばれる大都市圏が吸引力を高め、世界の経済成長を牽引。
- こうした産業経済の潮流変化の中で、本県は、以下のような姿をイメージしながら、産業の競争力強化を図っていく。
- ①モノづくりにおいて、次世代自動車や航空宇宙といった最先端の製品や新たな生産技術を生み出すマザー機能を有するとともに、素材・部品といった中間財メーカーやオンリーワン・ナンバーワンの技術・技能を持つ中小企業も含め、愛知県に拠点を置く企業が、グローバルな生産ネットワークの中で、強力なプレイヤーとして活躍する地域
  - ②モノづくりを中心とした活発な産業活動に加え、現状1,000万人からリニア開業により5,000万人に拡大する後背地を有する大都市圏として、多くの人や企業が集まり、モノづくりとの関わりなどの中で、ICTやデザイン、国際業務支援など高度な都市型サービス産業が展開している地域
  - ③最先端のモノづくりや多様なサービス産業、高度な研究開発機能、外国人を含めた高度人材や優れたモノづくり人材の集積があいまって、新たな産業が生まれ育つ地域

<課題の背景>

(産業の高度化・多様化)

- 新興国の競争力が向上している中で、モノづくり産業の競争力を高めるために「知的な価値」の重要性が高まっていることを踏まえ、革新的な製品や生産技術を生み出す研究開発機能の強化はもとより、顧客のニーズへの対応や製品のソフト面に関する機能をより重視した取組、さらには、知的財産の活用など、グローバル競争の中で勝ち抜く新たな付加価値の創出力を一層高めていくことが必要である。

[大学と企業の共同研究数の推移] 単位：件

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
全国	13,790	14,974	14,779	15,544	16,302
愛知県	869(6.3%)	906(6.1%)	861(5.8%)	960(6.2%)	1,040(6.4%)

出典：あいち産業と労働 Q&A2013 (愛知県) ( ) 内は全国シェア

- 主力の自動車産業においては、次世代自動車などの最先端の製品や新たな生産技術を生み出すマザー機能の確保・強化を図るとともに、まちづくりや交通システムとの組み合わせによる未来型のモビリティ社会の実現など周辺領域を広げていくなかで、一層の高度化が求められる。
- 当地が全国一の集積を誇る航空宇宙産業は、関連する産業の裾野が広く、技術波及効果の大きい先端技術集約型の産業であり、自動車産業に続く基幹産業としての発展を目指していく必要がある。
- 福島第一原発事故以降、我が国においてはエネルギー問題が顕在化し、新興国では、急速な経済成長に伴う環境問題が大きな課題となっている。そうした中、本県には、モノづくり産業において、省エネ・環境負荷低減に関する様々な技術集積を有している。  
健康長寿について、医療機器や介護ロボットなどは、きめ細やかな作り込みが求められるなど、本県の高度なモノづくり技術を生かすことができる分野である。  
環境・エネルギーや健康長寿について、こうした当地の強みを活かす取組を進め、新たな成長分野としていくことが求められる。
- また、企業活動の自由度が増し、競争力が最大限発揮できるような立地環境や魅力的な都市機能を整えながら、高度・先端分野や成長分野、都市型産業をはじめ、様々な企業の誘致や起業・ベンチャーの支援を進めていくことが求められる。

[開業率の推移]

	2001年-2004年	2004年-2006年	2006年-2009年
全国	4.2%	6.4%	2.6%
愛知県	4.3%	5.8%	2.6%

出典：あいち産業と労働 Q&A2013 (愛知県)

<重点的に取り組むべき政策の方向性>

(産業の高度化・多様化)

- ◆ **モノづくりの新たな付加価値を生み出していくために・・・**
  - ・産・学・行政の連携や研究開発機能の一層の強化
  - ・デザインやブランド力等のソフト機能の強化
  - ・「ブラックボックス」と「オープンイノベーション」の組み合わせなど知的財産の戦略的な活用 等
- ◆ **自動車産業の更なる高度化に向けて・・・**
  - ・次世代自動車やパーソナルモビリティなど最先端製品の研究・開発や革新的な生産技術の開発が行われるマザー機能の維持・強化
  - ・充電設備・水素ステーションなど次世代自動車の普及を支える環境整備
  - ・自動車周辺のソフト・サービス産業への拡大（スマートハウスにおける電源、ITSにおける情報端末等）のための社会実証実験等の支援 等
- ◆ **航空宇宙産業クラスターの形成に向けて・・・**
  - ・「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」のパワーアップ
  - ・中小企業の参入支援などの裾野拡大 等
- ◆ **課題解決型産業の創出・育成に向けて・・・**
  - ・モノづくり産業が有する省エネ・省資源の生産プロセスやリサイクルシステムの産業化の支援
  - ・ICTを活かしたスマートコミュニティ、水素社会の実現に向けた社会実験など、次世代のエネルギーシステムの産業化の支援
  - ・医療機器、介護ロボット等に関するモノづくり企業と大学、医療機関等とのマッチング支援 等
- ◆ **愛知の更なる産業の集積・多様化に向けて・・・**
  - ・魅力的な立地インセンティブの充実をはじめ企業誘致の強化
  - ・企業ニーズに応じた迅速かつ柔軟な産業用地の提供
  - ・企業活動の自由度を増す規制の緩和
  - ・起業・ベンチャーや新規事業展開の支援 等

**(グローバル市場の獲得)**

- 県内の中小企業においては、世界でも有数の技術・技能を有しているにも関わらず、自社の強みを把握できていない場合や、海外展開に関する意欲があってもノウハウを持っていないといった課題を抱えており、海外展開の検討段階から進出後のアフターケアに至るまで、総合的なサポート体制を、地域としてしっかりと整えていく必要がある。

[中小企業が海外展開を開始するために必要な条件 (全国)]

	1位	2位	3位	4位
輸出	販売先の確保	信頼できるパートナーの存在	輸出先の法制度や商習慣に関する知識	輸出先の市場動向に関する知識
直接投資	資金的な余裕	進出先の法制度や商習慣に関する知識	販売先の確保	信頼できるパートナーの存在

出典：中小企業白書 2012年版 (中小企業庁)

- 一方、企業がグローバルな視点での最適立地や生産ネットワークの構築を進めていく中で、外資系企業の誘致やMICEの開催など、海外からの投資や海外との取引機会を生む戦略的な取組を進めていくことも大切である。

[国際会議の開催件数の推移]

単位：件

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
全国	1,858	2,094	2,122	2,159	1,892
愛知県	122(6.6%)	152(7.3%)	137(6.5%)	139(6.4%)	125(6.6%)

出典：2011年国際会議統計 (日本政府観光局)

( )内は全国シェア

**(次代の産業を支える人材の育成・獲得)**

- 本県のモノづくり産業においては、様々な業種の中に、創造性に富んだ現場を支える技能・技術を有する人材が蓄積されている。生産拠点の海外進出の進展や熟練世代の退職、若者のモノづくり離れなど、人材面を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、これまで本県が培ってきたモノづくり人材の力を更に磨き上げ、次代へと継承・発展させていくことが求められる。

- 起業や事業の新規展開を目指す人材や、革新的な技術や魅力的なデザイン、新たなビジネスモデルといった製品・サービスの高付加価値化を支える知識・アイデアや技術・技能を有するクリエイティブな人材 (創造性や独創性に溢れた高度な人材)、さらには、グローバルな舞台に積極的に挑戦し、活躍できる人材を育成するとともに、そうした人材を、国内外から呼び込む魅力を地域として整えていくことが求められる。

[留学生数の推移]

単位：人

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
全国	123,829	132,720	141,774	138,075	137,756
愛知県	6,131(5.0%)	6,471(4.9%)	6,773(4.8%)	6,706(4.9%)	6,623(4.8%)

出典：外国人留学生在籍状況調査結果 ((独)日本学生支援機構)

( )内は全国シェア

**(グローバル市場の獲得)**

◆ 県内企業の海外展開を支えていくために・・・

- ・優れた技術や技能を有する県内企業の掘り起こしと情報発信の強化
- ・海外展開を検討する企業に対しワンストップで支援を行う体制の強化
- ・既に連携関係を構築しているビクトリア州 (オーストラリア)、江蘇省 (中国)、ベトナム政府、バンコク都 (タイ) との互惠関係の深化
- ・特に関係を深めることが望まれる国・地域について、行政間で協定を結ぶなど、新たなパートナーシップの構築 等

◆ 海外からの投資を呼び込んでいくために・・・

- ・地域のブランド力の向上
- ・モノづくりの集積の活用など戦略的な外資系企業の誘致
- ・外資系企業の誘致における広域連携の強化
- ・国際的な商談機会の提供などMICEの戦略的な誘致・開催 等

**(次代の産業を支える人材の育成・獲得)**

◆ 次代のモノづくりを支え、発展させていく人づくりを・・・

- ・高度なモノづくりを担う人材育成の機能強化
- ・熟練世代の技能・技術を効果的・効率的に引き継いでいく仕組みづくり
- ・モノづくりや技能・技術を大切にする機運の醸成
- ・女性や外国人の技能者・技術者の育成・獲得 等

◆ 知的価値を生み出し、グローバルな舞台で活躍できる人づくりを・・・

- ・地域の知的資産の拠点である大学との連携強化
- ・イノベーションを支える理数系教育の強化
- ・初等・中等教育における基礎的な英語力の定着
- ・若者が海外に挑戦する機会の充実
- ・国際機関等と連携した社会人のグローバル人材の育成 等

◆ 海外から優秀な人材が多く集まる地域に向けて・・・

- ・留学生の獲得と地域定着の促進
- ・国内外に広がる県内留学生のネットワークの活用
- ・外国人が安心して暮らせる生活環境 (外国語標記、教育、医療等) の整備 等

## 農林水産業

### ＜課題の背景・めざすべき社会＞

- 愛知県は、大都市圏でありながら、豊かな自然にも恵まれ、全国有数の農業県であり、とりわけ野菜、花き、果実など生産性の高い農業が展開されているとともに、水産業では、多くの魚種で全国上位を占める生産量を誇っている。また、林業においては、木材利用に適した高い齢級の森林が多いといった特徴を有している。しかし、全国同様、愛知県においても安価な輸入品の浸透による長期的な販売価格の低迷に加え、近年の燃油、肥料など生産資材価格の高止まり等により、農林漁業者の経営圧迫が続いている。さらに今後、貿易の自由化などが進めば、海外の生産者との競争が激化し、ひいては産業規模の縮小が懸念されている。
- 一方、世界の食市場規模は大幅に拡大（H21年 340兆円⇒H32年 680兆円）することが見込まれる中、世界的には、我が国が誇る食の安心・安全に対する関心も高まっている。また、国内においては、癒しや健康など消費者ニーズはますます多様化している。こうした状況を好機と捉え、従来の「プロダクト・アウト」から「マーケット・イン」への経営革新を図り、国内外で新たな需要を獲得していける競争力のある農林水産業を目指していく。
- また、少子高齢化が進展していく中、農林水産業においても担い手の減少や高齢化は深刻な課題となっている。今後、国内外で稼げる農林水産業を持続的に発展させていくためには、多様な担い手を確保・育成するとともに、生産性を高める取組を進めていくことも重要である。
- さらに、愛知の農林水産物を生産する農山漁村を持続的に維持していくためには、農地、森林、漁場といった生産基盤の整備や水産資源の適切な管理などを通して、農山漁村の美しさや伝統を次世代へ受け継いでいくことも大切である。

#### ＜農林水産業の産出額と全国順位(H23)＞

単位：億円

	農業	林業	水産業
産出額	2,948(6)	29(33)	203(22)

※( )は、全国順位

#### ＜農業産出額の構成比＞

単位：%

	米	園芸	畜産
愛知県	11.1	58.7	26.9
全国	22.5	39.0	31.9

#### ＜全国上位の生産量の魚種(H23)＞

- 第1位：あさり類、かざみ類
- 第2位：くるまえばい、うなぎ養殖、きんぎょ養殖
- 第3位：このしろ、しらす、いかなご、あゆ養殖

#### ＜森林に占める10齢級(46年～)以上の割合＞

- 愛知県：78.8%
- 全国：56.3%
- ※10齢級以上が木材利用として適している。

### ＜重点的に取り組むべき政策の方向性＞

#### ◆競争力のある農林水産業を目指していくために・・・

- ・消費者等のニーズに即した生産を強化し、農林水産物のブランド力の向上
- ・新たな価値を生み出す6次産業化や農商工連携の推進
- ・農林水産物等の輸出拡大の推進（トップセールス、マーケティング調査など）
- ・国内外における競争力の源となる知的財産の保護・活用
- ・生産から消費にいたる各段階での食の安全・安心の確保・強化 等

#### ◆担い手の確保・育成と生産性の高い農林水産業に向けて・・・

- ・関係機関と連携した企業など多様な担い手の確保の強化
- ・若手農林漁業者の育成の強化
- ・農地の合理的な利用に向けた担い手への農地集積の強化
- ・産・学・官連携による、低コスト、省力、省エネルギーで高品質な生産が可能な新技術や新品種の開発 等

#### ◆農山漁村の持続可能性に向けて・・・

- ・水田の大区画化、林内路網や漁場・漁港の整備など、生産基盤の整備の充実
- ・中山間地域を中心とした鳥獣害対策の推進
- ・水産物の資源管理や魚類・甲殻類などの育成・放流の推進
- ・間伐、ため池の保全、干潟・浅場の造成などによる多面的機能の維持向上 等